



市役所13階展望ロビーから望む市街地

広報
No.657

させぼ



広報させぼ 編集長
「キュちゃん」

特集 夏休み自由研究
市役所を調べよう!

2 ~ 7 p

今月の主な内容

- 6月定例市議会、台風災害への備えなど 8 ~ 11 p
- イベント、施設だより 12 ~ 15 p
- 市民の広場 16 ~ 17 p
- 歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド 26 ~ 27 p
- 九じろうの取材日記 28 p



PUBLIC RELATIONS SASEBO

広報 させぼ

平成17年8月1日発行

佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL 0956-24-1111 FAX 25-2184
〒857-8585(市役所専用)長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷/有限会社 日新堂印刷所

九じろうの 取材日記

九十九島シーカヤック
クラブ(愛称:サザレン)



九十九島シーカヤッククラブの会員
(洗鱗荘の前で)

九十九島シーカヤッククラブは、九十九島などの海を舞台に、シーカヤック(カヌー)を楽しみ、会員相互の親睦を図るサークルです。九十九島にちなんで、1999年9月9日に設立され、現在会員数は45人。月に1回は会員が集い、



みんなそろって出発

島々を巡るツーリングに出発
7月3日、洗鱗荘を訪れ、漕会に参加しました。この日の参加者は、親子連れを含めて12人。乗り降りの基本や、パドル(櫂)の使い方などを習った後、近くの島を巡るツーリングに出発しました。波静かな九十九島は、シーカヤックの初心者には最適の場所と言われていますが、この日は梅雨空で、小さな波が立っていました。臼ノ浦港から約2km南下し、最初の目的地上小高島に着きました。



ツーリングの前に記念写真

途中、漁船の航路に差し掛かると、先導する山本正幸事務局長が、メンバーに声を掛け、漁船が通っていないか確認してから進みました。「楽しいツーリングをするには、まず安全が第一」と山本さん。

上陸すると、洗鱗洞跡を訪れました。洗鱗洞は相浦の旧家・富村家の別荘だった所で、島の深い入江を囲って巨大な生簀を造り、客に魚の生き作りを振る舞ったそうです。クラブハウス「洗鱗荘」の名もこの洗鱗洞から取ったもので、魚が鱗を洗うように、日ごろの体と心の疲れを洗い流すという意味です。

次に、西へ約1km進み、希少種のトビカズラが自生するトコイ島に上陸しました。海岸では、植物や浅瀬に住む魚類などを観察しました。海のごみを集めるエコツーリングも実施しており、環境保全もクラブの大事な目的の一つです。



4月の漕会(九十九島)

この日は、約2時間ほどで洗鱗荘に戻りました。会長の澤恵二さんは、「シーカヤックは健康維持のため、無理なく続けることが大事。また、カヌーレースや遠距離ツーリングに参加方もあります」と語りました。

10月2日には、クラブ主催で、西海国立公園50周年記念事業として、「九十九島杯シーカヤックレース大会」を開催する予定です。(本紙12ページ参照)

この日は、約2時間ほどで洗鱗荘に戻りました。会長の澤恵二さんは、「シーカヤックは健康維持のため、無理なく続けることが大事。また、カヌーレースや遠距離ツーリングに参加方もあります」と語りました。



編集長から「一言」

今回の特集の企画は、昨年の夏小学生の母親から「夏休みの自由研究で市役所を調べるので、仕事の内容が分かるものはありませんか」と尋ねられたことがきっかけでした。子どもでも分かりやすい文章をと心掛けましたが、出来上がりは果たして...いかがでしたでしょうか?(K)